

2021年10月吉日

お客様各位

株式会社 ミカド珈琲商会

コーヒー製品の価格改定についてのお知らせ

株式会社ミカド珈琲商会（本社：東京都港区、社長：鳴島佳津子）は、2021年11月15日より、コーヒー製品の価格を改定いたします。

コーヒー生豆相場は、2021年2月から上昇を続けており、2014年以来の高値となるなど、今後も高値圏で推移することが懸念されております。

需要面では世界のコーヒー消費量が拡大し続けている一方で、生産国ではその需要に応えるだけの供給体制が整っておらず、需給バランスが崩れていることが大きな要因であります。また、ポストコロナで経済活動が順次再開することによる需要の回復、加えてブラジルにおける広範囲のコーヒー生産地域にて1994年以来となる大規模な降霜が確認され、コーヒー相場はさらに急騰し、今後も供給不足の解消は困難との見通しから高値相場の長期化が懸念されております。

また、為替相場は2021年1月より円安傾向を強めており、原料を輸入に頼るコーヒーにとっては大きなコスト増加の要因となっております。

更に、資材やエネルギー原料、物流費の高騰といったコストアップ要因も加わり、レギュラーコーヒー商品のコストは、大幅に上昇しています。

このような厳しい状況下、コスト増加分の吸収に向けた経営努力を行ってまいりましたが、今後も一段と厳しい環境が予測されており、企業内努力の限界を超える状況にまで至っております。

当社は、今後も生活者の皆さまに美味しいコーヒーをお届けするために、品質維持を最優先とし、やむなく、コーヒー商品の価格を改定させていただくことといたしました。

つきましては、11月15日より、直営喫茶店及び、通信販売の小売価格を改訂させていただき、業務用納入価格につきましても順次改定させていただきます。なお改定の出荷価格は、20%程度の上昇を見込んでおります。

今後も高品質で美味しいコーヒーをお届けするべく、一層の努力をして参ります。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。